

発見!

ちょっと気になる

まちの人

日本薬科大学2年
陸上競技部

溜池 勇太選手

言わずと知れたお正月の風物詩にもなっている箱根駅伝。駅伝ファンならずともその魅力にテレビをご覧になる方も多いのではないのでしょうか。

今年は伊奈町にキャンパスを構える日本薬科大学の陸上競技部から同大学2年の溜池選手が関東学生連合の選抜選手として復路9区を疾走。そんな溜池選手に箱根駅伝の感想などお話を伺いました。



紆余曲折しながらも自分に素直に走り続けた少年時代



▲9区を力走する溜池選手（中央）

小学校時代は走れば一番という生まれ持った脚力と運動神経。中学校は陸上部がなかったこともあり野球少年だったそう。高校に入り陸上部に入るものの、今までのように結果を残せず挫折感や焦りのせいで不登校にも。紆余曲折しながらも、走ることが好きな自分に素直に、走ることを辞めずに続けたことでさまざまな運命的な出会いがあり、彼をまた陸上の舞台へ復活させることとなります。地元の運動場で走っているときに、日本薬科大学陸上競技部の監督らに声をかけられたこともその一つです。そしてそのことがきっかけになり、日本薬科大学へ入学することになりました。

箱根駅伝、小さなころから夢見てきた舞台へ!

関東学生連合は10月に行われる箱根駅伝予選会で出場権を得られなかった大学の中から、予選会で個人成績が優秀な選手が選抜されます。

チームメイトは普段ライバルという関係性ではあるが、ひとつのチームとしてとてもよい関係性を築けたそうです。本番では溜池選手自身も小さいころから夢見てきた大舞台に立てる喜びと、自身の責任に「チームの中で自分の任された役割をきちんと果たすだけ」という気持ちでタスキを繋ぎました。



今度はチームで! 夢を叶えたい



4月からは3年生に進級する溜池選手は、次年度からは陸上競技部の副リーダーとしてしてみんなをひっぱる立場になります。「次はチームみんなで箱根を走りたい! 自分ひとりではなくチーム全体を強くすることが目標です。」と語ってくれました。

陸上競技部の創設は5年目、箱根駅伝の関東学生連合枠の選手出走は2年連続でしています。同大学の陸上競技部の活躍に今後もますます目が離せません。

箱根駅伝を走るためにフルオーダーで作られた決戦仕様のシューズ。ソールには剥離が。激走の証!



※このインタビューは地域情報ポータルサイト「いなナビ」と共同で行いました。インタビューは「いなナビ」にも掲載されています。ぜひご覧ください。

いなナビ



清の一言——大島清

記録的に寒かった今年の冬も終わりを告げる3月となり、春の訪れをひときわ嬉しく思います。

今月のコラムは伊奈備前守忠次の子どもたちについてお話しします。

長子の忠政は父忠次の死後家督を相続し、代官頭としての政治的権限も引き継ぎました。大坂夏の陣にも従軍し、軍功をあげましたが、その後34歳の若さで亡くなり、父と同じ鴻巣市の勝願寺に葬られました。その後忠政の子忠勝が家督を継ぎますが、翌年わずか9歳で没し、家系は断絶し、所領は没収されます。しかし、伊奈氏の名跡を惜しんだ幕府から、忠勝の弟忠隆に小室の1180石が与えられ、旗本として再興されました。

次子の忠治は独立し代官として徳川家康に仕えていましたが、兄の忠政が亡くなると、7000石を与えられ現在の川口市の赤山に陣屋を築き代官頭として幕府直轄領の支配に当たりました。特に利根川東遷や鬼怒川・小貝川の分流工事、堤防工事などを担当し、新田開発や治水に多大な功績をあげました。忠治の子孫は、代々代官頭（後の関東郡代）の職を世襲することになります。

襲することになります。

三子の忠武は出家し、日誓源貞と名乗り、鴻巣市にある勝願寺の住職として父忠次と兄忠政・忠治らの菩提を弔いました。

茨城県のつくばみらい市(旧伊奈町・旧谷和原村)の旧町名は、地域の開発に特に貢献した伊奈忠治が由来になっています。人名由来の自治体名は全国的にも非常に珍しく、伊奈町とつくばみらい市は伊奈氏繋がりで交流を重ね、平成25年1月17(いな)日に友好都市協定を結んでいます。

桶川市にある「備前堤」や熊谷市にある「備前渠」、水戸市にある「備前堀」など、今も関東各地には「備前～」という地名が残っていますが、この多くは伊奈備前守忠次の官名由来によるものです。

このように現代につながる関東一円の繁栄の礎を築いた伊奈氏の活躍を大河ドラマとして取り上げてもらおうことが私の夢です。この夢を町民のみなさんと共有できるよう、伊奈氏屋敷跡の整備や伊奈氏の顕彰など、さまざまな活動を進めていきたいと思っています。

ふるさと納税

関 企画課⑨2216

ご寄付をいただいた皆様 ありがとうございます

昨年一年間に、伊奈町ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）に、日本全国からたくさんの寄付をいただきましたので、使い道別の申込件数と申込金額をご報告します。寄付者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

いただいた寄付金は、寄付をされた方が希望する使い道に沿った事業に使わせていただきます。

今後も皆様に愛され、誇れる「伊奈町」であり続けられるよう、子育てとお年寄りに優しい「ずっと住みたい緑にあふれたキラキラ光る元気なまち」を目指して、取り組んでまいりますので、引き続きご支援くださいますよう、よろしくお祈いします。

寄付金の使途	件数合計	寄附金額合計
①安心・安全なまちづくり	46	51万5千円
②健康で心安らぐまちづくり	37	145万6千円
③豊かな心を育むまちづくり	111	71万4千円
④緑あふれる、にぎわいのあるまちづくり	77	60万9千円
⑤町民と行政が協働するまちづくり	6	4万円
⑥町長におまかせします	213	389万2千円
計	490	722万6千円

ありがとう ございました

- ♥伊奈町観光協会から、バラの苗17株をバラの町推進に役立ててほしいとご寄付がありました。バラは、町制施行記念公園のバラ園に移植し、大切に育ててまいります。
- ♥DIC株式会社埼玉工場・DIC労働組合埼玉工場支部から61,200円、前田ドライクリーニング商会から1万円、いきがい大学伊奈学園グラウンドゴルフ愛好会から3千円、小室観音清光寺檀信徒一同から12,000円、備前の里歩こう会から3万円を社会福祉のために、役立ててほしいとご寄付がありました。社会福祉協議会で有効に活用させていただきます。

